

第2学年B組 生活科学習誘導案

教諭 三嶋 浩子

単元 つたえよう ぼく、わたしの まちのステキ

(本校教育課程 生活科単元 第5項 11月中旬～12月中旬 14時間)

「単元の問題」を提起する根拠

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもは、月曜日のお話タイムで、「お父さんと公園に自転車の練習をしに行ったよ。」「図書館で、生き物が載っている本を借りてきたよ。」などと、身の回りの地域の場所で遊んだり、公共施設を利用したりしたことを楽しそうに友達に伝える姿が見られる。そんな子どもに、「お家の周りで好きな場所はあるかな。」と尋ねると、「駄菓子屋さんが好きだよ。色んなお菓子があって楽しいよ。」「公園が好き。逆上がりの練習を一生懸命したよ。」と、自分の家の周りの好きな場所について話していた。そこで、お話タイムで教師の好きなお店や場所について、写真を見せながら話すと、「私の家の近くにもあるよ。」「ぼくも、みんなに見せたいところがあるよ。」と話し出し、自分の家の周りがある場所やお店について関心が高まってきている。

○ 子どもの能力の実態

子どもたちは、第1学年の学校探検において、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、その安全を守っている人々について考えたり、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることを理解したりしている。知識及び技能の基礎について、学校の公共物や施設については、みんなで使うものの存在や目的に応じて多様に存在することに気付くことはできているが、地域にある場所や公共物、公共施設において、地域で生活をしたり働いたりしている人々の存在や、それらを支えている人々の存在に気付くまでには至っていない。また、思考力・判断力・表現力の基礎については、公共物や公共施設を利用はしているが、その良さを実感したり働きを捉えたりするまでには至っていない。それは、地域の場所や公共物、公共施設及び、それらを支えている人々と直接かかわり、自分の生活と繋げて考える体験や活動を行ってきていないことが原因である。

○ 社会からの要求

中央教育審議会答申において、2040年以降の社会を見据えた教育政策におけるコンセプトともいえるべき総括的な基本方針として「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げている。ウェルビーイングの実現とは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなることであり、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められている。日本社会に根差したウェルビーイングの要素の1つとして、「学校や地域でのつながり」が挙げられている。子どもが地域の場所や公共物、公共施設のよさやその働きを捉えたり、それらを支えている人がいることに気付いたりすることは、自分と他者とのかかわりをより一層大切にしながら、これからの生活を豊かにしていくために大変意義深いものである。

○ 教科系統上の要求

第1学年においては、学校生活にかかわる活動を通して、学校の施設の様子や学校を支えている人について考える学習を行ってきている。第2学年では、地域にかかわり、公共物や公共施設を利用する活動を行い、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりして、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、それらを支えている人々がいることに気付く学習を行う。これは、第3学年の社会科「主として『地理的環境と人々の生活』に区分される内容」へとつながるものである。

単元の問題

まちのステキをもっと見つけて、まちのステキはっぴょう会をしよう。

- 学校のまわりのまちのステキを見つけよう。
- 学校のまわりと子ども図書館のステキのひみつを見つけよう。
- まちのステキとそのひみつを見つけよう。
- まちのステキはっぴょう会をしよう。

目 標

<知識及び技能の基礎>

○ 自分たちの生活は、様々な人や場所とかかわっていることに気付くとともに、身の回りには、みんなでするものがあることやそれらを支えている人がいることに気付くことができる。

<思考力、判断力、表現力等の基礎>

○ 地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えたり、みんなでするものや場所のよさを感じたり働きを捉えたりすることができる。

<学びに向かう力、人間性等>

○ 地域の場所、公共物、公共施設と、それらで生活したり働いたりしている人々に親しみや愛着をもち、大切にしながら生活しようとしている。

誘 導 の 着 眼

【着眼1】 思いや願いが連続する選択・決定の位置付け

「住んでいるまちのことを知りたいな。」「まちのステキをもっと見つけたいな。」「見つけたまちのステキを伝えたいな。」というような思いや願いが連続していくように、3回の選択・決定する活動を位置付け、個別に支援を行う。

(1) 選択・決定する活動の設定

| 段階 | 内容（何について） |
|-----------|---|
| であう | 自分の家の近くの好きな場所、お店の中から、1番友達に伝えたいことを選択・決定する。 |
| いどむ 前半 | 学校の周りを探検した後、もう一度探検に行きたい場所やお店、会いたい人を選択したり、尋ねたいことを決めたりする。 |
| いどむ 後半 | 学校の周りの場所やお店、子ども図書館、自分の家の周りの場所やお店、それらにかかわっている人々の中から、友達に1番伝えたいことを選択・決定する。 |

(2) 見取りを基にした個別の支援

| 子どもの姿 | 主な支援 | 効 果 |
|------------------------|------------------------|------|
| 自力解決に向かっている子ども | 「～がいいね。」「すごいね。」などの称賛 | 価値付け |
| | 「どうして、〇〇を選んだの。」という問い返し | 意味付け |
| | 他者とかかわりを促す声かけ | 方向付け |
| 友達とかかわりを通して、解決できそうな子ども | 他者と繋ぐ声かけ | 方向付け |
| | 「～ができていていいね。」などの励ましや称賛 | 価値付け |
| | 決めた理由への問いかけ | 意味付け |
| 教師による支援を要する子ども | 困っていることや、前時までの様子を共有 | 方向付け |
| | 思いや願いを引き出す問いかけ | |

【着眼2】 気付きを広げ深める支援

子どもが他者とかかわりながら、気付きを広げ深めることができるように、以下の支援を行う。

○ 考えの共有

| ねらい | 具体的な方法 |
|---------------------------------------|--|
| 他者や対象への関心を高めるため | <ul style="list-style-type: none"> ・スタディログを活用した意図的な交流 ・対象への思いを共有する場の設定 |
| 新たな気付きを得たり、他者と比較して自分や友達のよさに気付いたりするため。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器での写真や動画の提示 ・意図的指名 ・新たな情報や材料を提示 |

展開計画（総時間数 14 時間）

| | 主な学習活動 | 教師のねらいとその手立て | 評価の規準と観点 |
|---|---|---|---|
| であう | 1 学校探検を想起し、学校の施設と地域の場所やお店を比べたり、自分の好きな場所やお店を伝え合ったりして、中心問題を設定する。 ＜本時 2 / 2＞ 2 | ○ 「学校や家の周りには、どんな場所があるのかな。」「住んでいるまちのステキをもっと見つけたいな。」という思いをもつことができるように、学校探検を想起し、学校の施設と自分の家の周りや地域にある場所を比べて似ている場所や施設を出し合ったり、自分の好きな場所やお店のことを伝え合ったりする活動を設定する。 | ○ 身の回りの地域や、公共物、公共施設について、「もっと知りたいな。見つけたいな。」という思いを高めている。 (主体的に学習に取り組む態度) |
| | 中心問題 まちのステキをもっと見つけて、まちのステキはっぴょう会をしよう。 | | |
| いどむ | 分析問題 1 学校のまわりのまちのステキを見つけよう。 | | |
| | 2 学校の周りを探検する。 5 (1) 探検の計画を立てる。 ① (2) 学校の周りの探検に行く。 ④ (3) 2回目の探検の計画を立てる。 ① | ○ 学校の周りには、様々な場所があることや様々な人が生活していることに気付くことができるように、学校の周りを探検する活動を設定し、見つけた場所やお店を出し合う活動を設定する。 ○ 行きたい場所や会ってみたい人などを思い描きながら計画を立てることができるように、自分が紹介したい場所やお店、働いている人と関連付けて2回目の探検場所を選択・決定する活動を設定する。 | ○ 学校の周りには、様々な場所があることや様々な人が生活していることに気付くことができる。 (知識・技能) ○ 行きたい場所や会ってみたい人などを思い描きながら計画を立てることができる。 (思考・判断・表現) |
| | 分析問題 2 学校のまわりや子ども図書館のステキのひみつを見つけよう。 | | |
| 3 学校の周りや子ども図書館へ探検に行く。 5 + 課外 (1) 学校の周りや子ども図書館へ探検に行く。 ④ (2) 探検をふり返る。 ① | ○ 図書館のよさを感じたり、働きを捉えたりしながらかかわることができるように、図書館の動画を全体で共有し、図書館で働いている人の仕事や仕事への思いを考えたりして、探検する活動を設定する。 | ○ 地域の人々や場所、公共施設などが自分たちの生活を楽しくしていることに気付くことができる。 (知識・技能) | |
| 分析問題 3 自分のまちのステキのひみつを見つけよう。 | | | |
| 4 自分のまちのステキのひみつを見つける。 課外 | ○ 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分とかかわっていることに気付くことができるように、自分の紹介したい場所やお店、人を選択・決定し、自分で探検に行く活動を設定する。 | ○ 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分とかかわっていることに気付くことができる。 (知識・技能) | |
| いかす | 分析問題 4 まちのステキはっぴょう会をしよう。 | | |
| | 5 まちのステキ発表会を開き、単元をまとめる。 2 | ○ 地域の場所、公共物、公共施設への親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にしようとするように、まちのステキ発表会を開く。 | ○ 自分のまちへの親しみや愛着をもち、それらを大切にしてこれからも繰り返しかかわろうという思いを高めている。 (主体的に学習に取り組む態度) |

(1) 主眼

自分の身の回りにある、好きな場所やお店などを友達と伝え合う活動を通して、身の回りにある地域の場所や公共物、公共施設について考えるとともに、「まちのステキをもっと見つけたいな。」という思いを高めることができるようにする。







(2) 本時における学びを愉しむ子どもの姿

自分の身の回りにある好きな場所やお店の中から伝えたいことを決めて友達に伝えたり、身の回りにある場所や公共施設について、これからしたいことを考えたりしている姿。【こだわる】

(3) 準備

学校を中心とした地図、子どもの好きな場所の写真、タブレット

(4) 展開

| 学習活動と子どもの意識 | 誘導上の留意点(○)と評価(※) |
|--|---|
| <p>1 前時までの思いや願いを想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <p>わたしは、家の近くにある公園のことを伝えます。みんなの家の周りのことや、どんな場所が好きかを知らないから、聞いてみたいです。</p>  | <p>○ 活動の見通しと本時のめあてを確かめることができるように、学校を中心とした地図を掲示したり、今日したいことを尋ねたりして、めあてを確認する。</p> |
| <p>自分の好きな場所やお店を、しょうかいしよう。</p> | |
| <p>2 自分の好きな場所やお店を紹介する。</p> <p>ぼくが紹介したいのは、家の近くにある公園です。いつも行っています。</p>  <p>私は、図書館を紹介します。図書館に行くと、本がたくさんあるので、わくわくして、嬉しくなります。</p>  | <p>○ 住んでいるまちには、自分や友達の好きな場所やお店があることに気付くことができるように、友達と伝え合う活動を設定し、個に応じた理由を尋ねる問いかけを行う。</p> <p style="text-align: right;">【着眼1】</p> <p>○ 「まちのことをもっと知りたいな。」という思いを高めることができるように、本時の学習を基に、学校の周りの写真を提示したりして、どんなことをしていきたいかを尋ねたり、思いや願いを出し合う活動を設定する。</p> |
| <p>まちのステキをもっと見つけて、まちのステキはっぴょう会をしよう。</p> | |
| <p>ぼくは、繰り返し行っているから公園を紹介したよ。○○さんのような、優しい人がいるという理由ではステキを見つけてないから、次は、まちの優しい人を探してみるよ。</p>  <p>○○さんは、働いている人の話を理由の中に入れていて、すごいなと思いました。私は、働いている人に聞いていないから、働いている人に話を聞くことができたなら、もっとまちのステキが見つかると思いました。</p>  | <p>○ 自分の紹介した内容や方法について、新たな視点で見つめ直すことができるように、紹介した理由を「繰り返し行っている」「1番○○である」「○○な人がある」の3つの視点で色別に提示したり、人の視点が入っている子どもを意図的に指名したりする。</p> <p style="text-align: right;">【着眼2】</p> <p>※ 「まちのステキをもっと見つけたいな。」という思いを高めている。</p> |
| <p>3 本時の活動をふり返り、次時の活動へ見通しをもつ。</p> <p>今日、ぼくの好きな場所を友達に伝えたり、友達の好きな場所を聞いたりして、楽しかったです。友達の話聞いて、もっとまちのステキを見つけたいな。学校の周りのステキも、見つけに行ってみよう。</p>  | <p>○ 今後の見通しをもったり、次時への意欲を高めたりすることができるように、本時をふり返る活動を設定する。</p> |